

# 流域治水対策の進捗状況 (令和3年度)



みんなでまもる土岐川・庄内川



# 【庄内川水系流域治水プロジェクトの進捗状況(令和3年度)】



- 各機関によりプロジェクトに基づく各種取組を幅広く、着実に実施し、土岐川・庄内川の流域治水を推進(詳細は次ページ以降)。
- 令和3年度は、住民参画・広報の取組として、一般公募によるロゴマーク作成や流域治水MOVIEの作成、シンポジウムの開催を実施。

【ロードマップ】 ※■■■■■：対策実施に向けた調整・検討期間を示す。  
 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

区分	主な対策内容	実施主体	工程 ※3		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県・市町		狭窄部下流の名古屋市街地等をまもる河道掘削	狭窄部上流の多治見市街地等をまもる河道掘削
	橋梁改築(狭窄部対策)	庄内川河川事務所 愛知県・名古屋市 東海旅客鉄道株式会社※2		県道枇杷島橋完成	JR東海道本線新幹線橋梁完成
	洗堰分派対策	庄内川河川事務所			洗堰分派対策完成
	用排水路の改修	東海農政局・愛知県		名古屋中央雨水調整池 広川ポンプ場の完成(名古屋市)	用排水路の改修
	雨水排水網、ポンプ場、貯留管等	愛知県・市町			
	既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築	庄内川河川事務所 土岐川防災ダム一部事務組合(瑞浪市)		事前放流等の実施	急傾斜施設の整備(土岐市)
	ため池等の活用	市町		ため池の機能強化(名古屋市)	
被害対象を減少させるための対策	砂防施設の整備、治山施設の整備、森林保全等	多治見砂防国道事務所 中部森林管理局・岐阜県・愛知県・市町			
	立地適正化計画への防災指針の位置づけ	市町		立地適正化計画への防災指針の位置づけ(多治見市)	居住誘導の推進
	水害リスクの低い地域への居住誘導	市町			
	浸水防止塀設置の支援	市町		浸水防止塀設置の支援(扶桑町)	土のうの事前配布(春日井市)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	出水期前に希望する市民への土のうの事前配布	市町			
	公園等を活用した高台の整備	市町		高台の整備(名古屋市)	
	大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用	庄内川河川事務所 中日本高速道路(株)名古屋支社名古屋保全・サービスセンター※1 名古屋高速道路公社※1		関係機関の連携強化(多治見市)	地下空間タイムラインの周知・フォローアップ(名古屋市)
	地下空間・地区タイムラインの作成・周知	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県・市町			
	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	市町		避難確保計画の作成	
	水害リスク空白域の解消	岐阜県・愛知県・市町		中小河川における浸水想定区域の指定	危機管理型水位計・監視カメラの設置(土岐市)
危機管理型水位計・監視カメラの設置、増設	市町				

現在(令和4年3月)

## 住民参画・広報の取組



一般公募・投票によるロゴマーク作成



流域治水MOVIEの作成



シンポジウムの開催

※1:実施主体ではないが、オブザーバーとして連携する機関 ※2:実施主体ではないが、連携する機関 ※3:各対策による旗揚げでは、代表的な市町名を記載



多治見市・・・P4	小牧市・・・P14	扶桑町・・・P24
瑞浪市・・・P5	稲沢市・・・P15	大治町・・・P25
恵那市・・・P6	尾張旭市・・・P16	蟹江町・・・P26
土岐市・・・P7	岩倉市・・・P17	岐阜県・・・P27
名古屋市・・・P8	清須市・・・P18	愛知県・・・P29
一宮市・・・P9	北名古屋市・・・P19	東海農政局・・・P31
瀬戸市・・・P10	あま市・・・P20	中部森林管理局・・・P32
春日井市・・・P11	長久手市・・・P21	岐阜・名古屋地方気象台・・・P33
犬山市・・・P12	豊山町・・・P22	多治見砂防国道事務所・・・P34
江南市・・・P13	大口町・・・P23	

# 【多治見市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 河道掘削、流出抑制対策、内水被害軽減対策のハード事業を実施
- 被害軽減対策、住民の主体的な避難行動を促す取組のソフト対策を推進
- 今後、かわまちづくり、ため池の活用について協議を進める

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削</li> </ul> </li> <li>●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備(雨水貯留施設の新設(駅南再開発)、貯留施設機能の維持・回復(調整池堆積土砂の浚渫))</li> <li>・民間開発による貯留施設設置指導(開発行為に対する流出抑制指導)</li> <li>・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(雨水貯留施設設置補助金交付)</li> <li>・ため池等の活用(ため池等農業施設の活用、既設貯留施設(ため池等)の事前放流)</li> </ul> </li> <li>●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水網の新設、増強(雨水排水網の新設、増強)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大原川、大洞川、梅平川等の掘削を実施。</li> <li>●調整池(明和町、小名田町)の浚渫を実施。</li> <li>●開発行為に対する流出抑制指導を実施。</li> <li>●雨水排水網(喜多町)の増強を実施。</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R4年度は、団子川、市之倉川等の掘削を予定。</li> <li>●R4年度は、調整池の浚渫(3か所)を予定。</li> <li>●R4年度は、太平町、笠原町の雨水排水網の増強を予定。</li> <li>●調整池の浚渫における補助金制度について、詳しく確認したい。</li> </ul>
<p><b>【被害対象を減少させるための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画への防災指針の位置付け</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R4年度は、立地適正化計画における防災指針を検討。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下空間、地区タイムラインの作成、周知(タイムラインの作成、周知(運用・住民周知・見直しの実施、地区タイムラインの作成支援))</li> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)</li> <li>・関係機関との連携強化(多治見市浸水対策協議会)</li> <li>・ハザードマップの更新(ハザードマップの作成、活用)</li> </ul> </li> <li>●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい教材等を用いた防災教育(防災教育の実施)</li> <li>・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(水防訓練の実施)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区タイムラインの作成支援実施。</li> <li>●水防災タイムライン・カンファレンス全国大会in多治見の開催。</li> <li>●多治見市浸水対策協議会の開催。</li> <li>●ハザードマップの作成、配布。</li> <li>●防災教育の実施。</li> <li>●水防訓練の実施。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●R4年度は、引き続き地区タイムラインの作成支援を実施予定。</li> <li>●R4年度は、引き続き浸水対策協議会、水防訓練を実施予定。</li> </ul>

# 【瑞浪市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 一級河川土岐川で河川橋梁改築に着手。また、普通河川4河川において河道掘削を実施。
- ハザードマップや防災無線・防災ラジオによる情報の周知を実施。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・一級河川での河川橋梁改築</li> <li>・普通河川の河道掘削及び浸水対策の実施</li> </ul> </li> <li>●流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築</li> <li>・民間開発による貯留施設設置指導 (開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設))</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一級河川土岐川の河川橋梁改築を継続して実施。</li> <li>●普通河川小井沢川、小井沢川右支川、槇本川、狭間川の掘削を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一級河川について、R4年度は、土岐川の橋梁改築に係る現橋梁の撤去に着手予定。</li> <li>・普通河川について、R4年度は、樽上川、大川川、平岩川の掘削を予定。また、今後の対象河川に釜糠川、東狸岩川、萩原川、飯塚川を追加予定。</li> </ul>
<p><b>【被害対象を減少させるための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画への防災指針の位置付け (立地適正化計画へ防災指針の位置付け)</li> </ul> </li> </ul>	 <p>小井沢川(着手前)</p>	 <p>槇本川(着手前)</p>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの周知)</li> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進)</li> <li>・関係機関との連携強化(土岐川流域新五流総地域委員会)</li> <li>・ハザードマップの更新(ハザードマップの更新・活用)</li> </ul> </li> <li>●住民の主体的な避難行動を促す取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や経路等に関する情報の周知 (気象・防災情報の提供)</li> <li>・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムライン作成の促進)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土岐川流域新五流総地域委員会の開催(書面開催)</li> <li>●ハザードマップの全戸配布(R2更新)</li> <li>●防災無線及び防災ラジオによる情報の周知(継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの活用について継続的に検討</li> </ul>

# 【恵那市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】





- 浚渫計画にある河川の河道掘削を実施しているが、頻発する災害により計画にない河川においても浚渫が必要となってきた
- 森林保全のための間伐を実施しているが、人材の育成・確保が課題となっている

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川浚渫 令和2年度～令和6年度)</li> <li>● 流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業水利施設の活用 (農業用ため池の整備)</li> <li>・森林保全 (森林整備“間伐”)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上平川、四ツ谷川、沖の洞川、笹尾川、荻久保川、兼平川の掘削を実施。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度は、笹尾川、山崎川、兼平川、賀見屋川の掘削を予定。</li> <li>・近年頻発する災害により、河道内に堆積した土砂の撤去が追い付かない。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下空間、地区タイムラインの作成・周知 (タイムラインの作成推進“自治会”)</li> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難計画策定の推進)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 43. 82haの森林整備を実施。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度は、58. 1haの森林整備を予定。</li> <li>・林業従事者が減少傾向である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設毎に高齢者等の避難計画を策定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度は、個別避難計画モデルを作成。</li> <li>・高齢者等の避難計画を策定していない施設に対して継続して働きかけを行う。</li> </ul>

# 【土岐市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



●河道掘削、急傾斜地崩壊防止対策などのハード対策と、ハザードマップを利用した防災学習や避難計画の見直しなどソフト対策の両面から治水対策に取り組むことができた。引き続き両面からのアプローチにより治水対策を推進していく。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通河川での河道掘削(維持管理計画等の検討) (橋梁の架替(土岐津橋改築))</li> </ul> </li> <li>●流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間開発による貯留施設設置指導 (開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設))</li> <li>・ため池等の活用 (既設貯留施設(ため池等)の事前放流)</li> <li>・森林保全 (間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化)</li> </ul> </li> <li>●土砂災害対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防施設の整備 (急傾斜施設の整備(妻木旭町で実施中))</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ・大洞川の掘削</li> <li>● ・民間開発に対し、雨水流出抑制のための調整池などの設置指導</li> <li>● ・急傾斜地崩壊防止施設の設置(実施中) </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時実施</li> <li>・随時実施</li> <li>・(課題)事業をスケジュールどおりに進めるための事業費の確保</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下空間、地区タイムラインの作成、周知 (自治体タイムラインの作成、周知(随時見直し))</li> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進)</li> <li>・関係機関との連携 (関係機関との連携(土岐川五流総地域委員会))</li> </ul> </li> <li>●住民の主体的な避難行動を促す取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (住民意識向上のための取組(小学生対象の防災教育))</li> <li>・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (ハザードマップの作成・活用(災害図上訓練の実施)、住民連携による施設維持(点検および操作訓練))</li> </ul> </li> <li>●ソフト対策のための整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (普通河川に於ける危機管理型水位計及び監視カメラの設置)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ・地域防災計画に定められた全ての要配慮者施設における避難確保計画の作成</li> <li>● ・土岐川流域五流総地域委員会にて関係機関と連携し、土岐川流域における治水対策プランの取組について情報を共有。水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組方針の見直し及び改定</li> <li>● ・小学4年生を対象に砂防教育を実施。砂防を含む防災について、座学、映像視聴、土石流模型を使った体験を行い、災害から命を守ることに学んだ。</li> <li>● ・ハザードマップ、防災資機材を利用した小学生向けの出前講座</li> <li>● ・ハザードマップを利用した水害リスクに対する講座</li> <li>● ・ハザードマップをより周知するため、市内各公民館にハザードマップのAO版パネルの設置</li> <li>● ・危機管理型水位計の普通河川への設置について、候補地の選定と現場確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き連携を強化し実施</li> <li>・次年度以降も引き続き実施 </li> <li>・(課題)地域によって防災に対する取組に差があるため、出前講座を通じて防災意識の向上を目指したい。</li> <li>・状況や要望に応じ適切に実施</li> </ul>

# 【名古屋市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 枇杷島橋改築工事、名古屋中央雨水調整池等の整備を始め各施策を推進しています。
- 来年度も今年度に引き続き、事業を進めていきます。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b> ● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削)	● 枇杷島橋改築工事 現場着手 ● 堀川の護岸整備、 河床掘削を実施  堀川(河床掘削)	● 枇杷島橋改築工事を引き続き実施 ● 堀川、野添川、境川の護岸整備、河床掘削を実施予定
● 排水機場の新設・増強・長寿命化(排水機場の増強)	● 久田良木川排水機場の増強工事を実施	● R4年度は、久田良木川排水機場の増強工事を引き続き実施
● 流出抑制対策 ・貯留管等の整備(調整池、調節池) ・ため池の活用(河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等) (ため池の機能強化(施設改良、耐震化))	● 貯留管等の整備を実施 ● 神池の施設改良(豪雨対策)を実施 ● ため池等3箇所(見返が池、猫が洞池、猪子石原中央公園調節池)のしゅんせつを実施。	● 貯留管等の整備を実施予定 ● R4年度は、蛭池の施設改良(豪雨対策)を実施予定
● 内水被害軽減対策 ・雨水排水網の新設・増強 ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水ポンプの新設・増強・機能強化(耐震化、耐水化)) ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討	● 雨水排水網の新設・増強を実施 ● ポンプ場の新設・増強・機能強化を実施 ● 効率的なポンプ運転調整ルールの検討を実施	● 雨水排水網の新設・増強を実施予定 ● ポンプ場の新設・増強・機能強化を実施予定 ● 効率的なポンプ運転調整ルールの検討を実施予定
<b>【被害対象を減少させるための対策】</b> ● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の作成) ・水害リスクの低い地域への居住誘導 (立地適正化計画に基づく居住誘導)	● 立地適正化計画への防災指針の位置付けに向けた検討 ● 水害リスクを考慮した居住誘導	● 立地適正化計画への防災指針の位置付けに向けた検討 ● 水害リスクを考慮した居住誘導
<b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b> ● 被害軽減対策 ・公園等を活用した高台の整備 ・広域避難計画の策定 (想定最大規模の洪水を踏まえた広域避難計画の策定) ・地下空間、地下タイムラインの作成・周知 (地下空間タイムラインの活用) ・水位周知下水道の指定・運用 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進) ・ハザードマップの更新	● 船頭場公園内に高台広場の整備を実施 ● 計画に基づく避難訓練を実施 ● 浸水ビューワに係る説明会を開催 ● 水位周知下水道システムの試行を実施 ● 要配慮者利用施設への訓練報告義務化について通知 ● ハザードマップデータの作成を実施  船頭場公園(高台公園)	● R4年度は高台広場の整備を引き続き実施 ● R5年度に施設整備を予定。 ● 広域避難計画の実行性を高めるための取組を実施 ● タイムライン更新を検討(内水氾濫の反映) ● R4年度に水位周知下水道の指定を予定 ● 要配慮者利用施設の避難確保計画作成等を支援する取組の推進 ● ハザードマップの印刷製本配布を予定
● 住民の主体的な避難行動を促す取組 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進))	● 防災人材育成方針の策定 ● 分かりやすい教材等を用いた防災教育を実施	● R4年度に防災人材育成計画の策定を予定 ● 分かりやすい教材等を用いた防災教育を引き続き実施



# 【一宮市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 千間堀川の河川改修について、令和3年度に46mを整備し、全体改修率88%を達成。  
令和4年度は43m整備予定。
- 想定最大規模の降雨に対応した避難確保計画作成の啓発を行う予定。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川改修(千間堀川等))</li> <li>● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備 (貯留施設の整備)</li> <li>・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浸水対策施設設置補助)</li> </ul> </li> <li>● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水網の新設・増強 (下水管渠の整備)</li> <li>・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (ポンプ場の整備)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ・千間堀川の河川改修を46m整備</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千間堀川の河川改修を43m整備</li> <li>・貯留施設整備(大平島公園、多加木公園、三ツ井公園)に必要な詳細設計を予定</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画作成促進と避難の実効性確保</li> </ul> </li> <li>● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や経路等に関する情報の周知 (防災ハンドブック改訂) (防災メール)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ・想定最大規模の浸水想定区域の対象施設を抽出</li> <li>● ・風水害に備える啓発リーフレットの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定最大規模の浸水想定区域の対象施設へ避難確保計画作成の啓発を行う予定</li> <li>・防災ハンドブック改訂予定</li> </ul>

# 【瀬戸市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、普通河川の樹木伐採や河道掘削を今年度実施
- 中・長期に渡る対策として、次年度以降も引き続き 普通河川の樹木伐採や河道掘削を実施予定

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施)</li> <li>● 流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ため池等の活用 (ため池の活用を実施)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普通河川の大六川にて樹木伐採及び河道掘削を現在実施中。                         樹木伐採状況                      河道掘削状況                 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度も継続して大六川の掘削を予定。</li> </ul>
<p><b>【被害対象を減少させるための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・水害リスクの低い地域への居住誘導 (水害リスクの低い地域への移住誘導を検討)</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一級河川の水野川沿いにて土地区画整理事業で宅地の嵩上げ等をし、浸水被害を低減する。 R6年度から区画整理事業開始予定。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (作成した計画に基づく避難訓練の実施促進)</li> <li>・ハザードマップの更新 (現行のハザードマップの背景地図を更新)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水防法に基づく浸水想定区域内に位置する要配慮者施設については、避難確保計画が策定済みのため、作成された避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促す。</li> <li>● ため池ハザードマップの更新を現在実施中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度と同様、引き続き避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促す。</li> <li>・ため池ハザードマップの更新を引き続き実施予定。</li> </ul>

# 【春日井市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 雨水調整池・雨水排水網・ポンプ場を新設、内水被害軽減対策事業を実施。ため池の低水位管理を実施。
- 洪水ハザードマップの全戸配布による市民の水防災意識の醸成。立地適正化計画の見直しに着手。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備(調整池の整備)</li> <li>・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(家庭雨水利用促進補助)</li> <li>・ため池等の活用(流域の雨水貯留機能の向上(ため池の活用))</li> </ul> </li> <li>● 内水被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水網の新設・増強</li> <li>・ポンプ場の新設・増強・機能強化</li> </ul> </li> </ul>	<p>雨水調整池・雨水排水網・ポンプ場を新設</p>  <p>ため池の低水位管理を実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き熊野桜佐土地区画整理地区の雨水調整池整備を継続。</li> <li>・家庭雨水貯留浸透施設設置補助事業を継続。</li> <li>・新たな調整池の整備箇所について検討。</li> <li>・ため池の低水位管理について、他に実施可能なため池がないか調査を実施。</li> <li>・上条地区：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水排水網新設</li> </ul> </li> <li>・熊野桜佐土地区画整理地区：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水排水網新設、ポンプ場新設</li> </ul> </li> <li>・西部第一・第二土地区画整理地区：                     <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水排水網新設、調整池整備</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>【被害対象を減少させるための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画への防災指針の位置付け(立地適正化計画への防災指針の位置付けを検討)</li> </ul> </li> <li>● 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画の防災指針作成のためのデータ収集。</li> <li>・希望する市民に土のうの事前配布を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度は、防災指針(案)の検討。</li> <li>・土のうの事前配布事業継続。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</li> <li>・ハザードマップの更新(洪水ハザードマップ(最大想定規模)の配布)</li> </ul> </li> <li>● 住民の主体的な避難行動を促す取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい教材等を用いた防災教育(水防訓練の実施)</li> </ul> </li> <li>● ソフト対策のための整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設(ライブカメラ等による水位情報の配信)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難確保計画未作成要配慮者利用施設に対する作成依頼、作成済みの施設に対する計画内容の見直し依頼、すべての施設に対する避難訓練実施後の報告書提出依頼を実施。</li> <li>・更新したハザードマップの全戸配布</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員のみによる水防訓練を実施。その様子を地元CATV局にて放映。</li> <li>・水位情報・河川画像の配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難確保計画未作成施設に対し、作成依頼の方法を検討。</li> <li>・コロナ禍収束後、再び市民参加による水防訓練へ</li> <li>・河川水位観測カメラの増設、機能強化</li> </ul>

# 【犬山市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】




- 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
- ハザードマップの更新

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留浸透施設設置費の補助)</li> </ul> </li> <li>●内水被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水網の新設・増強</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水貯留浸透施設設置費の補助 交付件数:5件 交付金額:133千円</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度から雨水排出量抑制のための調整池を整備開始予定。</li> </ul>
<p><b>【被害対象を減少させるための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組</li> <li>・立地適正化計画への防災指針の位置付け (立地適正化計画に基づく検討)</li> </ul>		
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画策定の推進)</li> </ul> </li> <li>●ハザードマップの更新 (ハザードマップを作成し、住民の防災意識向上に向けた取組を実施)</li> <li>●住民の主體的な避難行動を促す取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や経路等に関する情報の周知</li> <li>・分かりやすい教材等を用いた防災教育(住民の防災意識向上のための取組)</li> </ul> </li> <li>●ソフト対策のための整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (監視カメラの設置・増設)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの更新</li> <li>・避難行動要支援者を対象とした避難訓練(犬山南小学校区)</li> <li>・防災行政無線の更新</li> </ul> </li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域周辺住民を対象とした啓発活動(入鹿地区)</li> <li>・総合防災訓練(楽田小学校)</li> </ul>

# 【江南市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 要配慮者利用施設等の避難確保計画作成推進、雨水浸透貯留施設設置費補助等を実施
- 次年度以降も継続して各対策メニューを実施予定

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備 (雨水貯留施設や雨水管線の整備)</li> <li>・民間開発による貯留施設設置指導 (江南市雨水流出抑制基準に基づく流出抑制指導)</li> <li>・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留浸透施設設置費補助に対する助成)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県立古知野高等学校雨水貯留施設詳細設計委託を実施。</li> <li>● 民間開発への流出抑制指導を実施。</li> <li>● 各家庭等における雨水貯留浸透施設設置費に対する助成を実施。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● R5年度から県立古知野高等学校雨水貯留施設整備工事着工を予定。</li> <li>● R5年度から市内の2箇所に雨水貯留施設整備に係る実施設計を予定(設置箇所は検討中)</li> <li>● 民間開発への流出抑制指導と雨水貯留浸透施設に対する助成を今後も継続して実施予定。</li> <li>● 今後も継続して実施予定</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保</li> </ul> </li> <li>●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や経路等に関する情報の周知</li> <li>・分かりやすい教材を用いた防災教育 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等))</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木曾川の浸水想定区域内にあり、地域防災計画に名称等を定めている要配慮者利用施設、約180施設に対し、避難確保計画の見直し及び避難訓練結果報告書の提出を求め、必要に応じて助言を実施している。 また、新規施設に対しては、避難確保計画の作成を促進し、作成率100%を達成している。</li> <li>● 昨年3月に作成した防災ハンドブック等を題材に市政よもやま塾(出前講座)等を通じて、市民に防災情報を周知するなど、日頃からの防災意識の向上に努めている。 また、小学校からの要請に応じ、パワーポイント等で作成した資料を用いたシェイクアウト等、災害発生時の避難行動に関する講義や防災倉庫の備蓄品を実際に見学してもらうこと等で小学生の防災意識の向上にも努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後も継続して実施予定</li> </ul>

# 【小牧市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



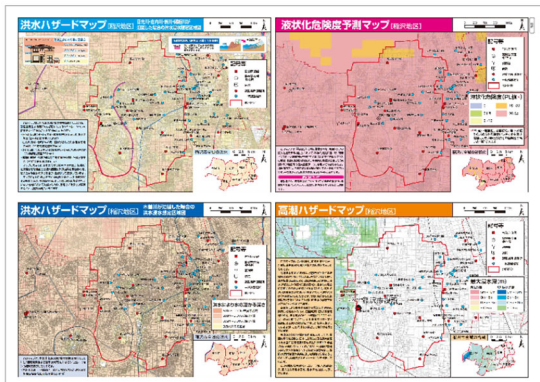
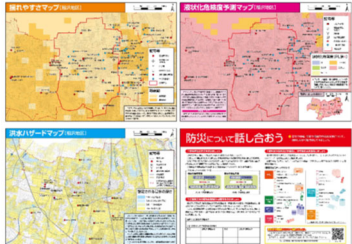
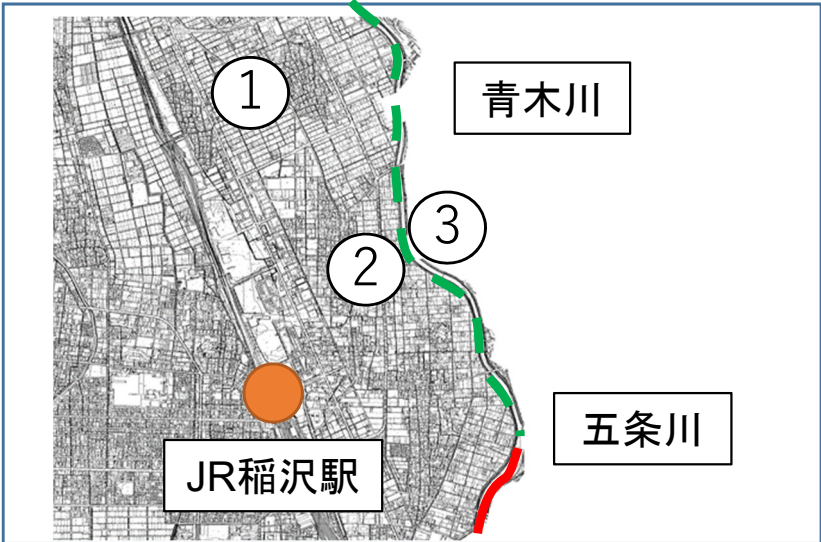
- 雨水貯留施設整備工事や雨水幹線整備工事が進行中
- 令和4年度は準用河川整備も進行予定

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (準用河川整備(新川・小針川))</li> <li>● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備 (公園等の活用を含む雨水貯留施設整備 ((仮称)第3老人福祉センター・井領公園・本田会館北公園))</li> <li>・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設設置補助金)</li> <li>・ため池等の活用 (ため池の機能強化)</li> <li>・水田の貯留機能向上 (水田利用による雨水流出抑制対策)</li> </ul> </li> <li>● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水網の新設・増強 (大山川排水区・葉師川排水区・下小針雨水幹線)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 井領公園に雨水貯留施設を埋設。 </li> <li>● 下小針雨水幹線整備の第9工区が進行中。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は準用河川新川及び小針川の整備を予定。</li> <li>・井領公園の雨水貯留施設整備工事が完了予定(令和4年度)</li> <li>・令和4年度、応時雨水幹線整備工事(大山川排水区)の着工を予定。下小針雨水幹線の整備も引き続き行っていく。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進)</li> <li>・ハザードマップの更新(ハザードマップの作成、活用)</li> </ul> </li> <li>● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や経路等に関する情報の周知 (小牧市防災ガイドブック配布、HP掲載)</li> <li>・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (学校区単位の防災訓練、講師による防災講演会)</li> </ul> </li> </ul>		

# 【稲沢市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】




- 流出抑制対策の地元と調整の実施～用地取得に向けて～
- 避難確保計画の作成促進

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流出抑制対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貯留管等の整備 (調整池の整備) 図内① (流域貯留) 図内②</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 流出抑制対策 地元説明の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流出抑制対策(調整池の整備)については、短期での効果を実現するため、R4年度に用地取得に向けた測量を実施。</li> <li>・ 流出抑制対策(流域貯留)については、教育委員会、学校側と課題を整理して協議したい。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (避難確保計画の早期作成を要請中)</li> </ul> </li> <li>● 住民の主体的な避難行動を促す取組           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難場所や経路等に関する情報の周知 (ハザードマップ更新(令和2年度)に伴う防災マップの配布(令和3年度))</li> </ul> </li> <li>○ ソフト対策のための整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (監視カメラの増設) 図内③</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(避難確保計画の早期作成を要請中)</li> <li>● ハザードマップ更新に伴う防災マップの配布</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>新防災マップ</b></p>  <p style="text-align: center;"><b>旧防災マップ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難確保計画の未作成施設について、早期作成を要請中</li> </ul>
		

# 【尾張旭市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】

- 浸水対策工事を実施し、大雨による浸水被害を抑制した。
- 立地適正化計画に防災指針を位置付け、ハード対策・ソフト対策共に推進していく。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備(貯留施設の整備・保全)</li> <li>・ため池等の活用(ため池の活用による流出抑制)</li> <li>・水田の貯留機能向上(水田の活用による流出抑制)</li> <li>・透水性舗装の整備</li> </ul> </li> <li>● 内水被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水網の新設・増強(排水施設の整備・維持管理)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ため池の低水位管理による流出抑制を実施</li> <li>● 浸水対策工事を実施</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田の活用について検討。</li> <li>・透水性舗装を整備する区域の検討。</li> <li>・引き続き対策必要箇所にて工事を実施する。</li> </ul>
<p><b>【被害対象を減少させるための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の検討・作成)</li> </ul> </li> <li>● 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立地適正化計画に防災指針を位置付け</li> <li>● 希望する市民へ土のうを配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く周知することが課題。</li> <li>・引き続き希望者へ土のうを配布する。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</li> <li>・ハザードマップの更新</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 要配慮者施設等へ避難確保計画の作成を促進したことにより作成完了</li> <li>● 令和3年4月に「尾張旭市防災ガイドブック」を発行</li> <li>● 令和3年4月より「尾張旭市防災アプリ」の運用を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難確保計画については実効性の検証が必要。</li> <li>・ガイドブック及びアプリについては広く周知することが課題。</li> </ul>



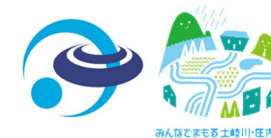
# 【岩倉市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】





- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策について今年度五条川小学校調整池供用開始
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策について防災講話などを通して、避難場所やハザードマップの周知、水害リスク理解促進を図った。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内水被害軽減策(農業排水施設等の活用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場の増強・機能強化(農業排水施設等の活用) (大市場・大山寺・北島・野寄・川井の排水機場の更新)</li> <li>・雨水排水ポンプ場の新設 (曾野・大山寺・北島・野寄排水機場の排水機能強化)</li> </ul> </li> <li>● 流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備 (五条川小学校・岩倉中学校・中央公園・大矢公園・駅東地区に雨水調整池を整備)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大市場排水機場更新について用地買収を行った。</li> <li>● 五条川小学校調整池供用開始</li> </ul>	<p>大市場排水機場では樋管等を施工予定 大山寺排水機場でも同様に用地買収を行う予定</p> <p>来年度に大矢公園調整池工事着手予定</p>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの改訂)</li> <li>・要配慮者施設等の避難確保企画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画策定の推進)</li> <li>・ハザードマップの更新 (ハザードマップ更新)</li> </ul> </li> <li>● 住民の主体的な避難行動を促す取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や経路等に関する情報の周知 (避難場所・経路の情報推進)</li> <li>・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (防災教育の推進)</li> <li>・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムライン策定の推進)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象施設に避難確保計画の作成と避難訓練の実施について働きかけを行った。</li> <li>● 防災講話などを通して、避難場所やハザードマップの周知、水害リスク理解促進を図る。</li> </ul>	<p>浸水ハザードマップの更新を予定</p> <p>継続して防災講話などを通して、避難場所やハザードマップ等に関する周知を行う。</p>

# 【清須市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】





- 雨水幹線の整備として、土田幹線、水場川右岸第一幹線の一部を施行。
- 自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発をした。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貯留管等の整備 (雨水調整池の整備)</li> <li>・ 民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水貯留浸透施設の設置指導)</li> <li>・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留浸透施設設置補助金、浄化槽雨水貯留施設転用補助金)</li> <li>・ 透水性舗装の整備</li> </ul> </li> <li>● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水排水網の新設・増強 (雨水幹線の整備)</li> <li>・ ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水ポンプ場の整備)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 堀江ポンプ場の機能強化。</li> </ul> 	<p>R4年度の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水幹線の整備 土田幹線、水場川右岸第一幹線を予定。</li> <li>・ 雨水ポンプ場の整備 豊田川ポンプ場、堀江ポンプ場を予定。</li> </ul>
<p><b>【被害対象を減少させるための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立地適正化計画への防災指針の位置付け (防災指針のガイドライン検討のモデル都市)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハザードマップの周知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発を予定。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減 早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域避難計画の策定 (広域避難について検討中)</li> <li>・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</li> </ul> </li> <li>● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難場所や経路等に関する情報の周知 (電話・登録制メール、防災行政無線による情報伝達)</li> <li>・ 分かりやすい教材等を用いた防災教育 (水害をテーマとした防災講演)</li> <li>・ ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (手作りハザードマップの作成) (自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発) (自主防災訓練等において避難訓練や避難危険箇所の確認) (市内中学生の自主防災訓練への参加)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> </ul> 	

# 【北名古屋市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】





- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成ワークショップを開催
- 立地適正化計画の策定業務を実施

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備 (雨水貯留施設の整備)</li> <li>・民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水浸透阻害行為指導)</li> <li>・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設整備の支援)</li> </ul> </li> <li>●内水被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水網の新設、増強 (幹線排水路の改修)</li> <li>・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプ場の整備)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間開発における雨水浸透阻害行為に対する指導を実施。</li> <li>●各家庭における雨水貯留施設整備の支援を実施。</li> <li>●幹線排水路の改修を実施。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、雨水浸透阻害行為への指導及び雨水貯留施設整備への支援を実施予定。</li> <li>●令和4年度は、雨水函渠整備を実施予定。</li> <li>●県河川事業と連携した雨水貯留施設の整備を実施予定。</li> <li>●雨水被害軽減対策としての田んぼダム の位置付けについて調査・検討を実施予定。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</li> <li>・ハザードマップの更新</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の施設管理者向けにワークショップを開催。</li> </ul> 	


# 【あま市の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 要配慮者施設における避難確保計画作成の説明会や高校生向けの防災出前講座を実施した。
- 適切な数値評価に基づく浸水特性や浸水要因を総合的に把握する必要がある。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備 (保全調整池及び雨水貯留浸透施設の整備)</li> <li>・透水性舗装の整備</li> </ul> </li> <li>●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水排水ポンプの整備)</li> </ul> </li> </ul>		
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの作成・周知)</li> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進)</li> <li>・ハザードマップの更新</li> </ul> </li> <li>●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や経路等に関する情報の周知</li> <li>・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等))</li> <li>・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムラインの作成の推進)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●要配慮者施設における避難確保計画作成の説明会を実施。 </li> <li>●高校生向けの防災出前講座を実施した。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●効果的かつ効率的なハード対策を実施するため、適切な数値評価に基づく浸水特性や浸水要因を総合的に把握する必要がある。</li> <li>●要配慮者施設における避難確保計画作成の支援として、必要な助言・相談を行う。</li> <li>●定期的に小・中・高校生に向けた防災出前講座を実施する。</li> </ul>

●鴨田川の様子をリアルタイムに確認するための河川カメラを新たに設置した。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備</li> <li>・河道掘削の調査、継続的な維持管理</li> </ul> <p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成 促進と避難の実効性確保 (要配慮者施設等の避難確保計画の作成)</li> <li>・ハザードマップの更新</li> </ul> </li> <li>●ソフト対策のための整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (河川カメラの設置)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災マップ(ハザードマップ)の記載内容について検討した。</li> <li>● 鴨田川に河川カメラを新たに設置した。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● R4年度は、防災マップの更新を予定している。</li> </ul>

# 【豊山町の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



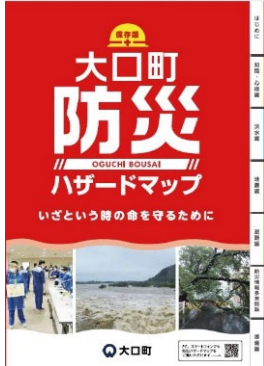

- 境川改修工事・雨水管渠整備工事の着手に向けた基本設計、久田良木川排水機場の吐出樋管移設工事およびポンプゲート設備工事を実施
- また、避難確保計画を作成し、令和4年度に作成した防災マップを町内全戸に配布予定

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・準用河川境川改修</li> </ul> </li> <li>● 排水機場等の新設・増強・長寿命化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・久田良木川排水機場増強</li> </ul> </li> <li>● 内水被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道雨水管渠整備</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境川改修工事の着手に向け、基本設計を実施。</li> </ul> </li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 吐出樋管移設工事、ポンプゲート設備工事を実施。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雨水管渠整備工事の着手に向け、基本設計を実施</li> </ul> <p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難確保計画を作成。 (町内の要配慮者施設を訪問し、作成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度は、準用河川境川の未改修区間の改修に着手。</li> <li>・R4年度は、久田良木川排水機場のポンプゲート設備工事、水門躯体工事を実施。</li> <li>・工事着手年度は未定</li> <li>・R4年度は、R3年度に作成した防災マップを町内全戸に配布。</li> </ul>

# 【大口町の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



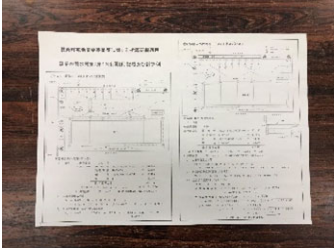


- 大口町防災ハザードマップの更新
- 監視カメラの設置

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</li> <li>・ハザードマップ更新【令和3年度更新予定】 (現行の防災マップ(地震・洪水)を更新し、新しい情報を住民に届けます。)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和3年12月「大口町防災ハザードマップ」完成</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの住民に対する周知</li> <li>・住民の水害リスクに対する促進</li> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフト対策のための整備</li> <li>・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (監視カメラ設置)</li> </ul> <p>役場からほど近い五条川(平和橋)に監視カメラが設置してあり、川の水位を確認することができます。</p> <p>また、今後、民間企業の協力を得ながら、主要な河川のポイントに監視カメラを増設していく予定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CCNetの協力により、令和3年10月から監視カメラ運用開始</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視カメラの住民に対する周知</li> </ul>

# 【扶桑町の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



## ●民間開発による貯留施設整備指導、各家庭における雨水貯留施設整備への支援

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備 (貯留施設の整備計画) (貯留施設の整備・効果発現)</li> <li>・民間開発による貯留施設整備指導 (民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備)</li> <li>・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設(雨水タンク・浸透枳)設置の支援)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開発事業者に対する貯留施設整備を指導。 写真: 雨水対策に関する計算例等を記載した資料 </li> <li>● 雨水貯留浸透施設を展示し、施設整備をPR。 写真: 窓口の製品展示風景 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度も、今年度に引き続き開発事業者に対し貯留施設の整備を指導していく。</li> <li>・R4年度も、引き続き雨水貯留浸透施設等の整備を支援し、河川への流出抑制を図る。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により地域防災リーダー育成に関する事業が開催できない。</li> </ul>
<p><b>【被害対象を減少させるための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水災害ハザードエリア等における各家庭への浸水防止対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水防止塀設置の支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>	
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と非難の実効性確保</li> </ul> </li> <li>●住民の主体的な避難を促す取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や経路等に関する情報の周知 (あらゆる機会を活用した水防リスク情報の提供)</li> <li>・分かりやすい教材を用いた防災教育等の防災意識向上のための取組 (地域防災リーダーの養成)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul> <p>写真: 施設整備に関する補助金のチラシ </p>	



# 【大治町の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 河川浚渫の実施
- 要配慮者利用施設避難確保計画作成率100%に向けた取り組み
- 小学校における防災教育の実施

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (浚渫(準用河川))</li> <li>●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯留管等の整備 (貯留施設機能の維持)</li> <li>・民間開発による貯留施設設置指導 開発行為に対する流出抑制指導 (貯留浸透施設)</li> </ul> </li> <li>●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場の新設・増強・機能強化 ポンプ場の整備 (西條円楽寺地区・砂子東排水区)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●準用河川小糠田川の浚渫を実施。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度は、引き続き準用河川小糠田川の浚渫を実施予定。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●早期復旧に備えた対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点の整備 (一次避難地となる防災公園整備)</li> </ul> </li> <li>●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成 ・更新の促進</li> </ul> </li> <li>●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (小学校における防災教育の実施)</li> <li>・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 みずから守るプログラムによる ハザードマップ作製</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和3年5月に、避難確保計画未作成施設に対し計画作成および提出を依頼。5施設から計画の提出があった。(令和3年12月時点)</li> <li>●大治南小学校にて2回防災教育を実施。(令和3年11月4年生、令和4年1月5年生)ハザードマップ等について講義を行った。 </li> </ul> <p>(令和4年1月の防災教育の写真)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画未策定の施設に対し計画作成および提出を促し、作成率100%を目指す。</li> <li>・小学校における防災教育を定期的に実施していく。</li> </ul>

# 【蟹江町の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】





- 今年度は、町内排水路の浚渫や整備を実施したほか、高潮ハザードマップを更新した。
- 新型コロナの影響により、地域団体や住民と実施する取組を推進することが難しく、防災意識向上を図る事業が実施できていない。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●内水被害対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水機場の整備</li> <li>・排水路の整備</li> <li>・排水ポンプの増強</li> <li>・予備排水の実施</li> </ul> </li> <li>●流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水路の改修及び堆積土砂の浚渫</li> <li>・浄化槽雨水貯留施設転用への支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 町内排水路の浚渫を実施                      </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県営事業による排水機場の改修を継続的に実施し、徹底した維持管理していく。</li> <li>・継続して、町内排水路の堆積土砂の浚渫を実施していく。(学戸8号排水路)</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの更新</li> <li>・自治体タイムラインの更新</li> <li>・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成推進</li> </ul> </li> <li>●住民の主体的な避難行動を促す取組                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区防災計画の策定推進</li> <li>・自主防災訓練の実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高潮ハザードマップの更新                      </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域団体における計画策定や訓練実施が困難な状況である。</li> </ul>


# 【岐阜県の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)(1/2)】

- 笠原川について、目標とする30年に一度の洪水を安全に流下させるよう、土岐川圏域河川整備計画に基づき河道断面を確保した。
- 土岐川流域の多治見市・土岐市・瑞浪市の小学校を対象に、カワゲラウオッチングや洪水の危険性等の防災・河川環境学習を実施した。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防整備、河道掘削、橋梁改築</li> <li>・流出抑制対策 (既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設設置への支援、ため池等の活用、森林保全)</li> <li>・内水被害軽減対策 (雨水排水網の新設・増強)</li> <li>・土砂災害対策 (砂防関係施設の整備、治山施設の整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 笠原川の掘削護岸工を実施。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度は、土岐川の土岐橋架替(下部工)等を予定している。</li> <li>・引き続き、小学校での防災・河川環境学習を実施する。</li> </ul>
<p><b>■ 被害対象を減少させるための対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 (立地適正化計画への防災指針の位置付け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 釜戸小学校他、8校で防災・河川環境学習を実施。</li> </ul> 	
<p><b>■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害軽減対策 (広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知、土砂災害リスク情報の現地表示(標識設置)、災害時応急対策用資機材備蓄拠点の整備)</li> <li>・住民の主体的な避難行動を促す取組 (避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信、土砂災害警戒情報の発表、土砂災害防止月間等における広報活動、防災訓練の実施)</li> <li>・ソフト対策のための整備 (危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)</li> </ul>		

# 【岐阜県の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)(2/2)】

- 荒廃溪流や林地崩壊箇所において、治山施設整備を実施し、土砂災害対策を実施。
- 森林整備(間伐)を実施。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<div data-bbox="136 491 913 842" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><b>■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防整備、河道掘削、橋梁改築</li> <li>・流出抑制対策 (既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設設置への支援、ため池等の活用、森林保全)</li> <li>・内水被害軽減対策 (雨水排水網の新設・増強)</li> <li>・土砂災害対策 (砂防関係施設の整備、治山施設の整備)</li> </ul> </div> <div data-bbox="136 847 913 994" style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>■ 被害対象を減少させるための対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 (立地適正化計画への防災指針の位置付け)</li> </ul> </div> <div data-bbox="136 999 913 1568" style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害軽減対策 (広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知、土砂災害リスク情報の現地表示(標識設置)、災害時応急対策用資機材備蓄拠点の整備)</li> <li>・住民の主体的な避難行動を促す取組 (避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、岐阜県土砂災害警戒情報ポータルによる危険度情報の発信、土砂災害警戒情報の発表、土砂災害防止月間等における広報活動、防災訓練の実施)</li> <li>・ソフト対策のための整備 (危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 治山施設整備(治山ダム、山腹土留工等)を実施。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 森林整備(間伐)を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度も引き続き治山施設整備、森林整備(間伐)を実施する。</li> </ul>

# 【愛知県(新川圏域)の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 新川圏域河川整備計画に基づき、河道改修や流出抑制対策を実施しました。
- 昭和56年に着工した青木川放水路(函体工)が完成しました。

対策メニュー	今年度の実施事項(愛知県)	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 等</li> <li>・排水機場等の新設・増強・長寿命化対策</li> <li>・流出抑制対策 (貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備)</li> <li>・土砂災害対策(砂防施設の整備、治山施設の整備)</li> <li>・内水被害軽減対策 (雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルール検討)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新川の堤防耐震補強を実施</li> <li>・五条川の河道掘削、橋梁改築を実施</li> <li>・薬師川の堤防整備を実施</li> <li>・青木川放水路整備(函体工)を実施</li> <li>・大山川調節池の設計委託を実施</li> <li>・青木川調節池(底版工)を実施</li> <li>・倉曾洞沢地区(砂防堰堤工)の整備を実施。</li> </ul>  <p>▲新川 堤防耐補強</p>  <p>▲青木川 放水路整備(函体工)</p>  <p>▲青木川 調節池の整備</p>  <p>▲倉曾洞沢地区 砂防施設の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度も、引き続き、河川改修の進捗を図る。</li> <li>(主な河道改修予定)</li> <li>・新川の堤防耐震補強</li> <li>・五条川の河道掘削、橋梁改築</li> <li>・薬師川の堤防整備</li> <li>・青木川の放水路整備(機械設備)</li> <li>・大山川調節池の整備</li> <li>・青木川調節池の整備</li> <li>・砂防施設の整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>被害対象を減少させるための対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 (立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導)</li> <li>・浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策 (浸水防止塀設置の支援、出水期前に希望する市民への土のうの事前配布)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土砂災害警戒区域等の指定のための基礎調査を実施</li> <li>・五条川において、危機管理型水位計の設置を実施</li> </ul>  <p>▲危機管理型水位計の設置</p>  <p>新たなIoT技術を活用し、安価で使いやすいシステムを開発</p> <p>危険管理型水位計 運用システム <a href="https://kaiwan-go.jp/">https://kaiwan-go.jp/</a></p> <p>インターネットで提供</p> <p>ユーザー 河川管理者 経営・市町村等 防災士</p> <p>多言語対応の多言語対応も可能!</p> <p>その川の状況は...!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県基幹的広域防災拠点の整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期復旧に備えた対策(防災拠点の整備)</li> <li>・被害軽減対策 (公園等を活用した高台の整備、広域避難計画の策定、地区タイムラインの作成・周知、要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知)</li> <li>・住民の主体的な避難行動を促す取組 (避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)</li> <li>・ソフト対策のための整備 (危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土砂災害警戒区域等の指定のための基礎調査を実施</li> <li>・五条川において、危機管理型水位計の設置を実施</li> </ul>  <p>▲危機管理型水位計の設置</p>  <p>新たなIoT技術を活用し、安価で使いやすいシステムを開発</p> <p>危険管理型水位計 運用システム <a href="https://kaiwan-go.jp/">https://kaiwan-go.jp/</a></p> <p>インターネットで提供</p> <p>ユーザー 河川管理者 経営・市町村等 防災士</p> <p>多言語対応の多言語対応も可能!</p> <p>その川の状況は...!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域等の指定</li> </ul>

# 【愛知県(庄内川上流圏域)の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 庄内川上流圏域河川整備計画に基づき、河川改修を実施しました。
- 尾張旭市で手作りハザードマップの作成しました。

対策メニュー	今年度の実施事項(愛知県)	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等</li> <li>・流出抑制対策 (貯留管等の整備、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備)</li> <li>・土砂災害対策 (砂防施設の整備、治山施設の整備)</li> <li>・内水被害軽減対策 (雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・八田川の堤防整備を実施。</li> <li>・水野川12支川(砂防堰堤工)の整備を実施。</li> </ul> </li> </ul>  <p>◀八田川(堤防整備)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度も、引き続き、河川改修の進捗を図る。</li> </ul> <p>(主な河道改修予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八田川の堤防整備</li> <li>・砂防施設の整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>被害対象を減少させるための対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 (立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導)</li> <li>・浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策 (出水期前に希望する市民への土のうの事前配布)</li> </ul> </li> </ul>	 <p>水野川第12支川(砂防堰堤工)▶</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土砂災害警戒区域等の指定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害軽減対策 (要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知)</li> <li>・住民の主体的な避難行動を促す取組 (避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)</li> <li>・ソフト対策のための整備 (危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域等の指定のための基礎調査を実施</li> <li>・みずから守るプログラムによる手作りハザードマップの作成(尾張旭市)</li> </ul> </li> </ul>  <p>▲土砂災害警戒区域等指定(基礎調査)</p>  <p>▲手作りハザードマップの概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土砂災害警戒区域等の指定</li> </ul>

- 東海農政局では、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、新木津用水路の断面を拡幅し、排水機能を向上させる用排水路の改修を実施。  
引き続き、新木津用水路の改修を実施していく予定。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●用排水路の改修 (新木津用水路 薬師川河川供用区間の改修 (国営総合農地防災事業))</li> </ul>  <p>新木津用水路の断面を拡幅 (薬師川河川供用区間)</p>  <p>◎近年の集中豪雨等により周辺の農地や家屋等に湛水被害を及ぼすおそれ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新木津用水路の改修を実施。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、新木津用水路の改修を予定。</li> </ul>

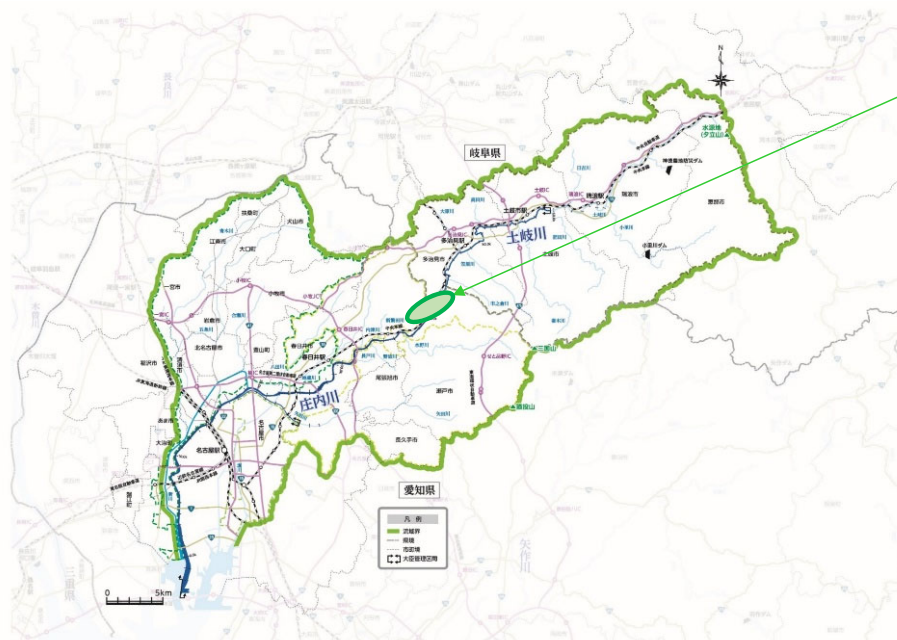
# 【中部森林管理局の流域治水対策の進捗状況（令和3年度）】



## ●森林保全

・森林地域においては、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図るため森林整備（間伐）を実施した。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●流出抑制対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林保全 (森林整備(間伐)) (森林の適正な管理)</li> </ul> </li> <li>●土砂災害対策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・治山施設の整備 (治山対策)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●森林整備(間伐)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備(間伐)</li> </ul>



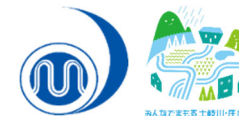
愛知県瀬戸市瀬戸国有林



森林整備（間伐）



# 【岐阜・名古屋地方気象台の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 地域の気象防災業務支援強化の取り組みとして、岐阜・愛知県内流域市町村の首長と気象台長の懇談や防災担当者との打合せを実施し、「顔の見える関係」の維持、強化を図った。
- 市町村担当者を対象とした気象防災ワークショップや警報が発表されるような気象状況において防災メール等による気象解説を実施し、気象情報の利活用についてのフォローアップを図った。

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害軽減対策</li> <li>・気象に関する予報精度の向上</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体が作成するタイムラインの見直し等への助言)</li> <li>・関係機関との連携強化 (あなたの町の予報官)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の主体的な避難行動を促す取組</li> <li>・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取り組み (住民への防災気象情報(キキクル等)の利活用を促進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6月から「顕著な大雨に関する情報」の提供を開始した。</li> <li>・洪水警報・注意報について、過去の水害事例を基に見直し作業を行った。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一部市町村のタイムライン見直しへの助言を実施した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内流域市町村の首長と気象台長との懇談を実施した。 (岐阜県:4市、愛知県:11市町)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和元年度より3年度にかけ、岐阜県・愛知県の、土岐川・庄内川流域を含む全市町村を対象に、自治体職員への気象防災ワークショップを実施した。</li> <li>・大雨や大雪について、警報が発表されるような気象状況の際は電話及び防災メールで状況や見通しを説明し、解説を行った。</li> <li>・岐阜県・愛知県に台風接近など影響が想定される時、各県のTV会議システムを使用して岐阜県・愛知県内の、土岐川・庄内川流域を含む全市町村に対して台風説明会を実施した。</li> <li>・土岐川・庄内川流域内のほぼ全ての市町村の防災担当者と打合せ(訪問又はオンライン)を行い、気象庁の取組について説明を行うとともに、防災情報の利活用についてフォローアップを行った。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインを基本に対応可能な範囲で出前講座や防災講演会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予報精度の向上について、引き続き取り組む予定。</li> <li>・引き続き、洪水警報・注意報の発表基準について、過去の水害事例を基に見直し作業を行い、必要があれば変更を行う。</li> <li>・新年度も引き続き取り組む。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● R4年度は、R3年度中に訪問できなかった市町村長と関係構築を図る。</li> <li>・R4年度も気象防災ワークショップや気象解説等を実施し、関係市町村の支援に引き続き取り組む。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、対面での実施も含め、引き続き取り組む。</li> </ul>

# 【多治見砂防国道事務所の流域治水対策の進捗状況(令和3年度)】



- 庄内川本川等の洪水の安全な流下に寄与する「土砂・洪水氾濫対策」としての砂防堰堤の改築
- 物流・避難経路の安全確保に寄与する「土砂災害対策」として、事前防災のための防災教育(砂防教室)及び自治体と連携した訓練を実施 さらに地域と協働した森林整備を実施

対策メニュー	今年度の実施事項	今後の予定 (課題があれば適宜記載)
<p><b>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土砂災害対策</li> <li>・砂防施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 岩山第4砂防堰堤の改築を実施。  </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、砂防施設の整備を進める。</li> </ul>
<p><b>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害軽減対策</li> <li>・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (タイムラインの作成支援)</li> <li>・関係機関との連携強化 (多治見市浸水対策協議会、土岐川流域新五流総地域委員会)</li> <li>●住民の主体的な避難行動を促す取組</li> <li>・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 砂防教室の実施  </li> <li>● 大規模土砂災害合同防災訓練  </li> <li>● 土岐川流域グリーンベルト事業  </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防教室の継続的な実施</li> <li>・大規模土砂災害発生を想定した訓練の実施</li> <li>・土岐川流域グリーンベルト事業の継続</li> </ul>